

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	人文特論ⅣA
科目基礎情報					
科目番号	0082		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	山根 秀介				
到達目標					
1 宗教(学)の基本的な諸概念を理解する。 2 世界の宗教及び宗教文化、またそれが有する諸問題を理解する。 3 宗教という視点から現代社会を分析・考察することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	宗教(学)の基本的な諸概念を十分に理解できている。		宗教(学)の基本的な諸概念をある程度理解できている。		宗教(学)の基本的な諸概念を理解できていない。
評価項目2	世界の宗教及び宗教文化、またそれが有する諸問題を十分に理解できている。		世界の宗教及び宗教文化、またそれが有する諸問題をある程度理解できている。		世界の宗教及び宗教文化、またそれが有する諸問題を理解できていない。
評価項目3	宗教という視点から現代社会を分析・考察することが十分にできる。		宗教という視点から現代社会を分析・考察することがある程度できる。		宗教という視点から現代社会を分析・考察することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	宗教学の基礎的な概念を身に付けつつ、現代の世界における宗教及びそれに関連する諸問題について考える力を身に付けることを目標とする。				
授業の進め方・方法	【授業方法】 授業者の配布する資料を使いつつ、現代社会における宗教及び宗教文化の諸相について学習する。 【学習方法】 基本的には授業で扱われた内容が試験に出題されるため、まずはそれらをしっかりと学ぶことが重要である。それに加えて、必要な書籍や資料を通して知識を蓄え、設定した問題を考察し分析し、その成果を表現する技術を身に付けること。				
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 中間試験および期末試験を行う。時間は50分。 2回の試験(80%)と、課題(20%)から、総合的に成績を評価する。到達目標への到達度を評価基準とする。 【備考】 自分で関心のある主題を探しつつ受講すること。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 人文ゼミナール室(B-305) 内線電話 8902 e-mail: s.yamane アットマーク maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明 宗教(学)とはどんなものか、宗教の種類	1, 2, 3	
		2週	「原始社会」における宗教	1	
		3週	一神教(1)	1	
		4週	一神教(2)	1	
		5週	世界の神話	1	
		6週	儀式・祭儀・礼拝	1	
		7週	宗教と社会	1, 3	
		8週	中間試験	3	
	2ndQ	9週	試験の返却と解説	2	
		10週	アメリカと宗教(1)	2	
		11週	アメリカと宗教(2)	2	
		12週	フランスとイスラーム(1)	2	
		13週	フランスとイスラーム(2)	2	
		14週	世界各国の宗教問題	2, 3	
		15週	宗教と紛争	1, 2, 3	
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	実技等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0